



# 兵庫県青年洋上大学同窓会 40周年 記念事業第4弾

## おとなの社会見学シリーズ

### 秋の京都 太秦映画 ～映画の醍醐味を体験～

東映太秦映画村として1975年(昭和50年)11月1日に開村・公開した。

時代劇の殺陣ショーや俳優のトークショー・撮影会・握手会などのほか、スーパー戦隊シリーズや仮面ライダー等のキャラクターショー、殺陣講座などの体験企画なども行なわれている。

東映 京都撮影所特別コースの見学もあるヨ **特別企画を調整中 期待して下さい!**

阪急梅田～嵐山～嵐山散策～太秦映画村 昼食 体験(東映撮影所 予定)～西院～阪急梅田

実施日：12月1日(土)

集合時間場所：午前8時45分 阪急梅田駅中央口

解散時間場所：午後5時00分 阪急梅田駅 構内

参加費：同窓会正会員(特別価格) 3000円

正会員以外(中学生以上) 3500円(成人は5000円)

お子さん(小学生) 1500円(4歳以下は500円)

(参加費は、プログラム費用です。)昼食は、含んでいます

集合地から解散場所までの移動費・映画村入場料は、参加費に含まれています。

持ち物：デジタルカメラ、筆記用具

申込み 兵庫県青年洋上大学同窓会 事務局まで

info@hyogo-yodai.net

先着20名様までです。お早目にお申込みください。締切11月25日迄

チョッピリプレゼント・・・お楽しみに \*同窓会正会員は会費納入済みの会員



## おとなの社会見学シリーズの始まり

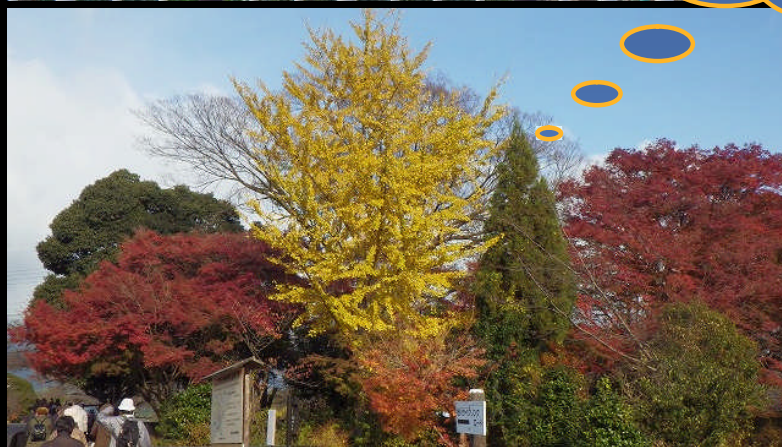
2012年師走 12月1日開始

紅葉のスポット嵐山から路面電車(嵐電)に乗車して、チョツピリ観光気分を味わいました。

多くの観光客やふたり連れの観光スポットは朝から賑わっています。



紅葉の京都嵐山





秘密の入り口から入場し  
東映京都撮影所を見学  
しました。  
なかなか入ることが出な  
い場所と話に『裏話』にワ  
クワクです



撮影秘話 男達の大和  
制作の苦労話を聞き  
制作記録を見学に行くこ  
とを決定・後ほど



東映映画村内 中村座  
で公演中、激突!忍者  
ショー「服部半蔵 伊賀越  
忍法帖」は観客と一体と  
なった舞台でした





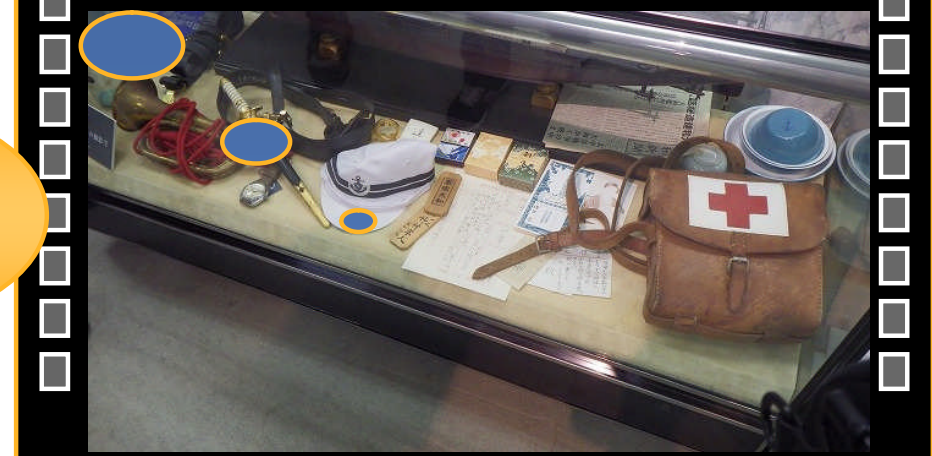
舞台の裏側を  
探索

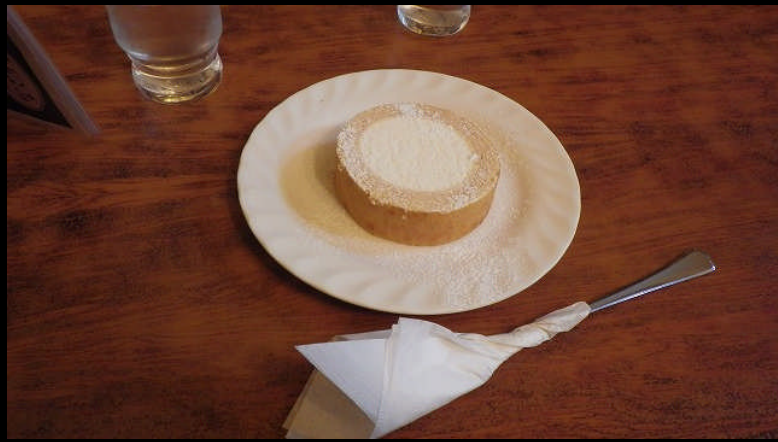


男達の大和の撮影秘話  
展示会場で発見  
今回の受け入れをして頂  
いた竹村さんの名前を発見  
遊び心か・・・



記念写真  
良い思い出です





チョコピリプレゼントは、映画村のカフェでお茶しました



やっぱり 雨でした  
 京都は全国的に雨の期間が多いのでしょうか？  
 一回目のおとなの社会見学シリーズも無事終了しました。実施にともない協力して頂いた多くの方に感謝をいたします。次回 ご期待を2013年2月予定



おまけ **下見秘話**

下見の報告 **11月17日 雨**

雨の映画村を探索

戦隊シリーズは人気です

知ってる…………… **難しいかもネ**

**撮影所はテレビドラマも撮っています**

**すれ違った有名人 緒方直人さん、**

**仲間由紀恵さん、田村正和さん オーラを**

**感じました**



## おちゃめな 会長で～す

足を運んで体験したこと。足を運ばなければ体験出来ないこと…。

話し、新しい知識を得る。  
異文化・歴史に接し周りを振り返る。

ご案内をして頂いた  
木下さんとポーズ

森山陽介アクションチームのみなさんと

## 中村座

激突!忍者ショー「服部半蔵—伊賀越忍法帖」  
公演中

ありがとうございました

## おとなの社会見学シリーズのスタート

10人程度の規模で日頃見学ができにくい  
場所へ出かけ、ひととの出会いを目的とした活動です!



# 振り返り

**参加者** 6名+役者さん3人

**日時** 2012年12月1日 土曜日 8時40分から17時

**コース** 京都太秦 東映撮影所 映画村

阪急梅田駅集合 → 阪急嵐山 → 嵐山電鉄 嵐山 → 太秦広隆寺 →

東映京都撮影所 → 太秦映画村 → 嵐山電鉄 太秦広隆寺 → 西院 → 阪急 梅田

**まとめ**

**竹内様のお話で印象に残ったこと**

1. 東映・東宝・松竹の枠を超えてスタジオの貸し借りをしていること、にビックリ。
2. 映画「男たちの大和」の10分の9サイズのセットを4か月掛けて尾道に作ったこと。今は呉に曳航して寄贈してあること、にビックリ。
3. 石灯籠や石などの重量物が全て発泡スチロール製でできていること、にビックリ。

先日まで撮影に使われていたスタジオや時代劇セットを見学させていただき、いかに放映されたときに違和感なく、かつ手早く組めるように工夫されていることに驚きました。また、映画、テレビ業界を取り巻く厳しい状況下でも今までの技術を継承しながら作品作りへ取り組む職人魂もすばらしいものと思いました。

これからドラマや映画を観る時は裏方へも注目して観たいと思います。

洋大同窓会で映画エキストラに参加し、できればエンドロールに個人個人の名前を出して頂くこと、その様なことを思った一日でした。

**同窓会 40周年記念事業 おとなの社会見学シリーズに期待して下さいネ**